

かつしか 区議会だより

第1回定例会

2月	17日	本会議（議案の付託等） 予算審査特別委員会
18・19・23日		常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
24日		議会運営委員会
25日		本会議（代表質問・一般質問）
26日		本会議（一般質問、議案の議決等） 議会運営委員会
3月2～8・10日		予算審査特別委員会
11～16日		常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
17・22・23日		特別委員会（地方分権・行革、危機管理 対策、都市基盤整備）
25日		議会運営委員会
28日		本会議（議案の付託・議決等） 常任委員会（総務） 議会運営委員会

主な内容 2・3面…代表質問 3・4面…一般質問 5～7面…予算特集 8面…可決された議案ほか

No.227 平成28年（2016年）4月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX5698-1543



議会棟と立石さくら通り

平成28年度予算が成立

無電柱化の推進に関する 法整備を求める意見書などを可決

今回の定例会では、区長の
所信表明を受け、5会派から
の代表質問と、8名の議員か
ら一般質問が行われました。
また、平成28年度葛飾区
議会運営委員会

可決された意見書（要旨）

今回の定例会では次の意見書5件を可決し、関係機関に送付しました。
（件名の下の☞は意見の分かれた意見書です。各会派の賛否は8面に掲載）

無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書

国会に対し、災害の防止、安全で円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、無電柱化の推進に際し、基本理念や責務、推進計画の策定等を定めることにより、施策を総合的、計画的かつ迅速に推進し、公共の福祉の確保や生活の向上、地域経済の健全な発展に貢献する無電柱化の推進に関する法律案の早期成立を強く求める。

TPPの影響に関する国民の不安を払拭し、対策の確実な実行を求める意見書

国会及び政府に対し、今後、総合的なTPP関連政策大綱に基づいた必要な法整備と、速やかな予算の執行をはじめ、次の事項について万全の施策を講ずることを強く求める。①農林水産業の再生産が維持できるよう、恒久的な対策を担保する法整備を行うとともに、政府の責任のもとに必要な財源を確保すること。②農林水産業の体質強化を念頭に、中長期的な対策を講ずること。③農林水産物の輸出促進に向けた物流インフラの整備を図るとともに、6次産業化をさらに推進し、新たな需要創出を図ること。④検疫体制の強化により、輸入食品の安全性を確保し、国民の不安を解消すること。

地方公会計の整備促進に係る意見書

国会及び政府に対し、統一的な基準による次の事項の措置を早急に講ずるよう強く求める。①財務書類を可能な限り早期に作成するため、その前提となる固定資産台帳の整備に取り組み必要があるが、台帳の整備には相当な作業コストを要するため、団体の財政力に応じた適切な財政措置を講ずること。②財務書類を作成するに当たり様々な相談内容に対応できるように、公認会計士等の専門家を派遣するなど、実務面でのきめ細かな支援を実施すること。③財務書類を作成・活用するためには複式簿記の知識等が必要となるため、自治体職員等における自治体職員向けの研修をさらに充実するとともに、今後、財務書類を議会審議等で積極的に活用することができるよう、地方議員向けの研修も充実すること。

児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

政府に対し、児童虐待防止対策強化プロジェクトで策定された施策の方向性を踏まえ、児童虐待発生予防から発生時の迅速かつ的確な対応、自立支援に至るまでの一連の対策強化のため、早期に児童福祉法等改正案を国会に提出するとともに、次の事項についても速やかに実施するよう強く求める。①児童虐待の発生を予防し、妊娠前から子育て期までの切れ目ない支援を実現するため、「子育て世代包括支援センター」を法定化し、全国展開を図ること。また、孤立しがちな子育て家庭へのアウトリーチ支援を強化するため、子育ての不安や悩み等を抱える家庭への養育支援訪問事業や、ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）事業を全ての自治体で実施できるようにすること。②児童相談所全国共通ダイヤル「189」の更なる周知を図るとともに、児童相談所につながるまでに数分かつている実態等を早急に見直し、通報しやすい体制を整えること。また、通報に対し、緊急性の判断や関係機関との連携を的確に行える体制整備にも努めること。③児童虐待が発生した場合、迅速かつ的確な初期対応が行われるよう、児童相談所の体制や専門性を抜本的に強化すること。特に児童福祉司、児童心理司、保健師等をはじめ職員配置の充実、子どもの権利を擁護する観点等から弁護士等の活用等を積極的に図ること。④学校や医療機関、警察等関係機関における早期発見と適切な対応を図るため、児童相談所と関係機関との間における緊密な連携体制を再構築すること。特に、警察と児童相談所においては、虐待の通報を受けた場合、虐待の有無にかかわらず、情報共有を図ること。また、一時保護等において警察と児童相談所が共同対応する仕組みを全国で構築すること。⑤一時保護所における環境改善を早急に図るとともに、量の拡大を図ること。また、里親や養子縁組を推進し、家庭の養護のもとで子どもたちが安心して養育される環境を整えること。⑥被虐待児童について、18歳を超えても引き続き自立支援が受けられるようにすることともに、施設退所後や里親委託後の児童等に対しきめ細かなアフターケア事業を全国で実施すること。

（仮称）義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律案の早期成立を求める意見書

国会及び政府に対し、一日も早く不登校の子どもたちの学びの場を確保するために、同法律案の早期成立を強く求める。

政治家の寄附は、禁止されています。また、暑中見舞等時候の挨拶状（答礼のための自筆のものを除く。）を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金（出産・新築等）、贈り物（お中元・お歳暮等）をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

区政を聞く代表質問(要旨)

自由民主党議員団

安全・安心なまちづくりの推進と
公共施設の保全・長寿命化の実現を
平成28年度当初予算案及び今後の財
政運営

開発や新小岩駅周辺開発、京成押上線連続立体交差事業の事業費が大きく膨らむ見込みである。これらの財源は国や都の補助制度、積立基金や起債などを最大限に活用していく。 ※他の質問項目 将来世代の負担のバランス など

中期実施計画の初年度となる平成28年度の予算はどのような経済認識の下で編成を行ったのか。また、今後の消費税率引き上げや税制改正の中心として健全性を維持した財政運営を進めるのか区長の考えを伺う。

答 景気回復の実感が地域経済に十分に浸透しておらず、経済状況の動向を注視する必要があると考えている。今後の財政需要を見据え、一層の経営改革の取り組みを推進し、積立基金や起債余力などの財政対応能力も活用し財政運営を進める。

中期実施計画の財政フレームの考え方、特に財政調整交付金の見直しをどのように推計しているのか伺う。

答 4年間の計画事業費を前提に、経営改革の取り組みや起債・基金等の財政対応能力、さらには都区財政調整制度を最大限活用して作成した。

平成28年度及び中期実施計画の街づくり事業費の見直しとその財源の見直しについて区長の見解を伺う。

答 事業の進展により右駅周辺地区再開発のため、現行の仕組みを要するとは考えない。

基金の「たのび」を優先して区民のくらし・営業を優先して

補正予算案と来年度予算案

問 11億円のうち77%の積み立てをする補正予算案のことが景気を下支えするものといえるのか

答 今回の補正予算案の内容はこれからこの公共施設の更新需要に備えた基金の計上などであり、直接景気を下支えするものではない。

問 葛飾区総合戦略の今後の取り組みの筆頭は、誰もが安心して暮らせるまちづくりとすべきではないか

答 国に合わせ、都市基盤の整備による利便性の向上と良質な住宅の確保を基本目標の筆頭としたが、待機児童の解消や雇用の促進なども、区政の重要課題として取り組んでいく。

問 都の社協センターに加え、介護福祉士等資格取得のために区独自の学費支援を行うべきと思うがどうか

答 平成28年度から介護人材キャリアアップ助成制度を創設する。今後、介護サービスの質の向上と人材確保、定着に向けた支援を検討していく。

問 本区の2015年度国民健康保険料の介護保険納付分所得割保険料率は23区でも高い。仕組みの改善が必要と思うがどうか

答 23区で統一の制度で算定しており、所得割率を下げようとする低所得者を含め一律の均等割額の増については

区政を聞く一般質問(要旨)

自由民主党議員団

地方連携の取り組みの強化と
バス交通網の充実を

問 地方連携の観点から、真さたけミッド、キヤブの成功をどのように評価しているか伺う。

答 自治体間の新たな交流や本区の知名度の向上、区内産業の活性化などの多くの成果が得られた。

問 (仮称) かつしか益まつりの開催で、どのような効果が期待されるか伺う。

答 地域の活性化等に寄与し、区への愛着や誇りを高めるのみならず、葛飾の心意気を発信するところにつながる。 ※他の質問項目 参加自治体の今後の交流・連携 など

災害対策の強化
問 東日本大震災から5年間の本区の災

施し、利用しやすい環境を整える。

問 公共施設の保全・長寿命化の実現に向けての区長の考え方を伺う。

答 必要な改修工事をできる限り早く実施し、将来にわたり気持ちよく安心して利用できるようにしていく。

問 中期実施計画の期間中にどのような工事計画を策定していくか伺う。

答 施設の重要度を加味して優先度を設定し、財政支出平準化を図りながら効果的かつ効率的に工事を実施する。

問 公共施設保全の取り組みを実効性のあるものとしていくため、公共施設の保全に関連する部門の体制構築と人材の育成が重要と考えるがどうか

答 施設改修計画担当係を新設し体制を強化するとともに、外部研修や身体的資格取得の奨励などを通じ育成していく。

問 道路などの社会資本の保全・更新の今後の進め方

答 国内外の観光客の誘客はどのような状況か。また、施策の効果はどう評価し、今後どのような目標の下に観光振興策をどう展開するのかが伺う。

答 平成17年度調査以降の観光客の増加傾向は区ゆかりのキャラクターの活用などの観光資源創出が要因だと考えており、今後も外国人向けPR活動や地域ごとの個性を生かした観光資源の創出などを積極的に取り組む。

問 大田区などの「民泊」条例制定の動向をどのように認識しているのか

答 大田区などの取り組み状況、国の検

問 民泊の誘客は平成31年度に約5億円の影響は見込んでいます。財政需要を見据えつつ経営改革を推進し、財政対応能力を最大限活用して、効果的・効率的な財政運営を進める。

問 税制改正の本区への中期的な影響と今後の財政運営や基金等の対応など見直しを伺う。

答 本区への影響は平成31年度に約5億円の影響は見込んでいます。財政需要を見据えつつ経営改革を推進し、財政対応能力を最大限活用して、効果的・効率的な財政運営を進める。

問 日本語の指導を必要とする子どもたちの教育のあり方

答 国語の縦横斜型防犯整備事業は、新小岩公園高台化事業と堤防沿いの道路と一体化して取り組むか伺う。

答 都の堤防整備事業との一体的な整備が図れるよう協議・調整を行う。

問 水元地域のバス路線について今後の道路整備を踏まえ、どのように取り組んでいくか伺う。

答 東京における都市計画道路の整備方針案で水元地域は補助が写線などの優先整備路線が掲げられた。区では将来の道路網を見据え、整備の状況に合わせて利便性の高いバス交通網が実現できるように取り組んでいく。

問 葛飾北部地域の都市整備
問 危機管理の観点から橋梁新設は重要なものと考えているが、補助13号の橋梁建設に向けた取り組み状況を伺う。

答 ICTによるインノベーション創出事業などの取り組みに加え、学校支援総合対策事業を実施し、すべての子供を支援する体制を構築していく。

問 水元地域のバス交通
問 水元地域のバス路線について今後の道路整備を踏まえ、どのように取り組んでいくか伺う。

答 東京における都市計画道路の整備方針案で水元地域は補助が写線などの優先整備路線が掲げられた。区では将来の道路網を見据え、整備の状況に合わせて利便性の高いバス交通網が実現できるように取り組んでいく。

問 葛飾区議会公明党
ウオーキングを活用した区民の健康づくりを

問 区民の健康づくり

問 区民の健康づくり



亀有駅南口の両津勘吉祭り姿像 (© 秋本治・アトリエビーだま/集英社)

葛飾区議会公明党

問 平成28年度予算
問 予算編成過程において、どのようなマネジメントにより予算配分したのか見解を伺う。

答 国内外の観光客の誘客はどのような状況か。また、施策の効果はどう評価し、今後どのような目標の下に観光振興策をどう展開するのかが伺う。

答 平成17年度調査以降の観光客の増加傾向は区ゆかりのキャラクターの活用などの観光資源創出が要因だと考えており、今後も外国人向けPR活動や地域ごとの個性を生かした観光資源の創出などを積極的に取り組む。

問 大田区などの「民泊」条例制定の動向をどのように認識しているのか

答 大田区などの取り組み状況、国の検

問 民泊の誘客は平成31年度に約5億円の影響は見込んでいます。財政需要を見据えつつ経営改革を推進し、財政対応能力を最大限活用して、効果的・効率的な財政運営を進める。

問 日本語の指導を必要とする子どもたちの教育のあり方

答 国語の縦横斜型防犯整備事業は、新小岩公園高台化事業と堤防沿いの道路と一体化して取り組むか伺う。

答 都の堤防整備事業との一体的な整備が図れるよう協議・調整を行う。

問 水元地域のバス交通
問 水元地域のバス路線について今後の道路整備を踏まえ、どのように取り組んでいくか伺う。

答 東京における都市計画道路の整備方針案で水元地域は補助が写線などの優先整備路線が掲げられた。区では将来の道路網を見据え、整備の状況に合わせて利便性の高いバス交通網が実現できるように取り組んでいく。

問 葛飾北部地域の都市整備
問 危機管理の観点から橋梁新設は重要なものと考えているが、補助13号の橋梁建設に向けた取り組み状況を伺う。

答 ICTによるインノベーション創出事業などの取り組みに加え、学校支援総合対策事業を実施し、すべての子供を支援する体制を構築していく。

問 区民の健康づくり

問 区民の健康づくり



中川(都市計画道路補助138号線付近)



子育て広場

政策 葛飾

問 一人暮らしの高齢者を支えるしくみ
問 足立区社会福祉協議会が実施している「高齢者あんしん生活支援事業」を本区社会福祉協議会においても実施すべきと思うがどうか

答 足立区社会福祉協議会における事業内容を調査し、課題を整理した上で本区社会福祉協議会に対し導入について検討することを要請していく。

問 公共施設の今後の方向性
問 公共施設の複合化にあたっては、区民ニーズに見合った行政機能を新たに付加しながら進めることが大切だと考えるが、区の見解を伺う。

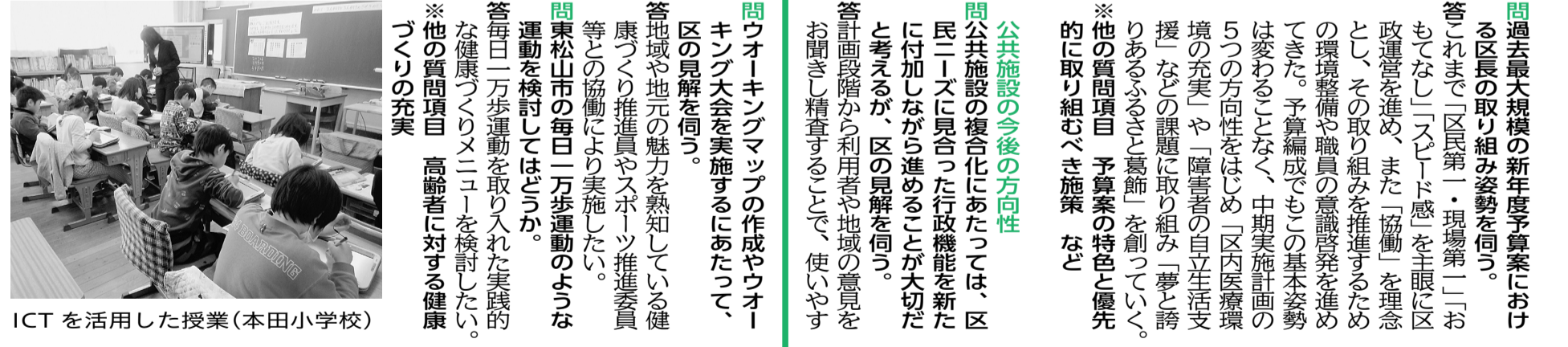
答 計画段階から利用者や地域の意見をお聞きし精査することで、使いやす

問 水元地域のバス交通
問 水元地域のバス路線について今後の道路整備を踏まえ、どのように取り組んでいくか伺う。

答 東京における都市計画道路の整備方針案で水元地域は補助が写線などの優先整備路線が掲げられた。区では将来の道路網を見据え、整備の状況に合わせて利便性の高いバス交通網が実現できるように取り組んでいく。

問 葛飾区議会公明党
ウオーキングを活用した区民の健康づくりを

問 区民の健康づくり



ICTを活用した授業(本田小学校)

の実績 など

問 樹木等の適正な管理
問 街路樹による舗装の根上がり、信号や標識を覆う葉、電線の接触等、交通や道路に対する支障について、区民の方々からどのような声が上がっているのか。区の見解を伺う。

答 高木の枝の伸長による信号・標識や看板などの視認性の低下、沿道建物や電線類への枝の接触、落葉による樋の詰まり、日照障害、病害虫の発生、根上がりによる通行障害など多様な意見・要望をいただいた。これらの意見や調査、安全点検結果を踏まえ必要に応じて、支障枝の剪定や危険性のある樹木の伐採、控え木の取り替え、根上がりによる舗装の修繕等を行っている。

問 これからの社会を見据えた学校教育
問 本区の子ども達が、これからの社会をたくましく生き抜く力を育てるために、早急に学校教育のあり方について考え、子ども達の将来に向けて何を教える、何を育てていくのかを見据えていかなくてはならない時期に来ているのではないかと。区の見解を伺う。

答 豊かさと確かな学力、体力を身につけた子どもを育てることが急務であり、これからの社会をたくましく生き抜くために必要な主体性と協働性といった資質や能力を身につけたグローバル人材の育成を積極的に進めていく。

問 小学校と併設する「こすげ」図書館
問 地域特性を考慮した機能を付加することは重要な点である。敷地面積などの制約もあるため、周辺施設状況、地域の特性等を考慮し、個別にその必要性等について検討する。

問 公共施設の今後の方向性
問 公共施設の複合化にあたっては、区民ニーズに見合った行政機能を新たに付加しながら進めることが大切だと考えるが、区の見解を伺う。

答 計画段階から利用者や地域の意見をお聞きし精査することで、使いやす

問 水元地域のバス交通
問 水元地域のバス路線について今後の道路整備を踏まえ、どのように取り組んでいくか伺う。

答 東京における都市計画道路の整備方針案で水元地域は補助が写線などの優先整備路線が掲げられた。区では将来の道路網を見据え、整備の状況に合わせて利便性の高いバス交通網が実現できるように取り組んでいく。

問 葛飾区議会公明党
ウオーキングを活用した区民の健康づくりを

問 区民の健康づくり



小学校と併設する「こすげ」図書館

※他の質問項目 生ごみの処理 など

女性の就労支援

問しごと発見プラザかつしか内にオムツ替えスペース等を設置し、安心して相談できる、葛飾版「マザーズハローワーク」を開設してはどうか。

答平成28年度から29年度にかけて予定されている大規模改修工事に合わせて、子育て中の女性が利用しやすい環境の確保を前向きに検討する。
※他の質問項目 就労支援策の充実 など

地域防災

問中学生の若い力・ヤングパワーとの連携を深めることが、地域の防災力向上の近道になると思うがどうか。
答自治町会と学校を繋げるパイプ役としての役割を積極的に務めるなど、地域の防災力向上に向けた若い力の確保に取り組んでいく。
※他の質問項目 シェイクアウト訓練 など

他の質問項目名 区内のバス交通

日本共産党葛飾区議会議員団

高齢者も子どもも安心して生活できる区政に

サービス向上改革プログラム

問給食業務を全校で民間委託すれば、子どもの成長・食に対する区の責任を放棄することになるが、直営校の役割はないと考えているのか。
答給食調理業務という点では特別な役割はない。良質な給食を効果的に提供できる体制の実現が重要である。

※他の質問項目 公共施設のリストラ計画 など

介護予防・日常生活支援総合事業

問軽度化促進加算、自立化促進加算はサービス抑制の加算であり、質の向上と利用者の立場に立った事業者への独自加算を検討すべきではないか。
答軽度化・自立化加算は利用者と事業者の双方にメリットがあり、サービ

ス抑制の加算ではない。

※他の質問項目 安易な総合事業への移行 など

子どもの貧困対策

問ひとり親世帯への家賃補助を行うべきと考えるがどうか。

答本区の現状は、比較的低家賃での入居が可能であり、家賃補助を行う予定はない。

問子どもの貧困対策本部を設置し、実態調査を実施すべきと思うがどうか。



元気に遊ぶ子どもたち

答子育て支援策等に取り組みつつ、本部の設置の必要性について検討する。
※他の質問項目 給付型奨学金制度の創設 など

放射線・耐震対策

問放射線対策を後退させることなく、給食の放射能検査、公共施設のみめ細かな測定は継続すべきではないか。
答これまで実施した全ての放射性物質検査で事故由来放射性物質は不検出であり、公共施設も測定・除染を行い除染基準未達になったため、いずれも平成27年度末をもって終了する。

※他の質問項目 耐震改修助成額の大幅な拡充 など

民主党 葛飾

若年女性の人口増加と女性の参画による地域活性化を

女性にやさしいまちづくり

問若年女性の人口増加策をどう考えているか、区の見解を伺う。

答転入者が本区を選んだ理由に交通の便と住宅事情をあげていることから、今後も街づくりに係る取り組みを行い、安全で安心して暮らしやすい街づくりを進める。また各種の子育て支援策を進め、子育て世代など若年女性が望む施策を合わせて実施すること、若年女性も含めた人口誘導と定住促進につなげていきたい。

※他の質問項目 必要な施策の徹底的な調査・分析 など

保育の課題

問来年度入園に向けた保育施設利用申し込みの結果と需要傾向を伺う。



お迎え (東堀切保育園)

答第一次募集申込み数約2千800人のうち1歳児が千人を超え一番多い。育児休業制度活用の浸透が大きな要因であり、ここ数年の需要傾向である。

問現在の区立幼稚園の役割と今後の方向性を伺う。
答区立幼稚園は昭和40年代に私立幼稚園の補完的な位置付けで設置された。現在教育委員会では、幼稚園や保育所と小学校の幼保小連携を進めている。同じ区立の小学校と連携しやすいと考えており、住民ニーズの動向を踏まえ役割について検討する。
※他の質問項目 保育需要課題 など

高齢者の健康づくり

問高齢者の介護予防や健康づくりに該当する事業を、利用者目線で情報提供すべきと思うが、見解を伺う。
答積極的に参加していただくためには、事業の情報提供、周知が重要である。

政策 葛飾

問今後の基金の積立で計画はどのようなのかが区長の考えを伺う。
答区民サービス向上改革プログラムの財政基盤の強化に基金の積立・活用を位置つけた。今後も積立に努める。
※他の質問項目 積立での効果

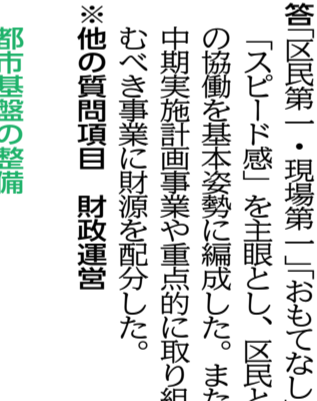
平成27年度補正予算

問平成28年度当初予算案の編成

問どんな基本姿勢・方針で臨んだか、重点的に配分した事業を含め伺う。
答「区民第一・現場第一」おもてなし「スピード感」を主眼とし、区民との協働を基本姿勢に編成した。また、中期実施計画事業や重点的に取り組むべき事業に財源を配分した。
※他の質問項目 財政運営

都市基盤の整備

問京成線の鉄道立体化の動向と高砂駅周辺のまちづくりの進捗状況を伺う。



京成高砂駅

答早期実現に向けて都、京成電鉄との協議を積極的に進め、鉄道立体化と一体となったまちづくりのため、地元勉強会の設置、また、高砂団地創出用地利用等の検討を始めている。
※他の質問項目 金町駅前整備 など

交通網の整備

問バス路線網の充実における課題と今後の対応について伺う。

答路線ごとの採算性の確保が重要。社会実験や施設整備などの支援をして、継続的な路線の運行につなげたい。
※他の質問項目 鉄道網の整備

教育行政

問部活動の外部指導員を学校職員などに位置付けることについて伺う。

答国や都の動向に注視し、地域顧問や技術指導者の身分について研究する。
※他の質問項目 いじめ防止 など

無所属 (※4)

問障害者の歯科診療の充実と公共施設のバリアフリーの推進を

問ひまわり歯科診療所のノウハウを生かし、身近な医療機関での歯科診療が可能となるか、区の考えを伺う。



ひまわり歯科診療所

答ひまわり歯科診療所の経験を踏まえ、歯科医師会と協力しながら身近な地域での歯科診療体制の充実を努める。
※他の質問項目 受診者の推移 など

公共施設の活用

問保全工事計画に基づく修繕に合わせ、既存施設のバリアフリー対応を計画的に実施すべきではないか。
答大規模改修を実施する施設は、可能な限りバリアフリー化を推進する。
※他の質問項目 公衆トイレの整備

障害を理由とする差別の解消推進

問障害者差別解消支援地域協議会の構成員に障害者を含めていくのか。

答障害者団体や家族会の代表者等を含めた協議会として運営する。
※他の質問項目 相談窓口の設置

無所属 (※2)

問金町駅周辺の街づくり・道路整備と学校給食費の公費化について

問J R金町駅施設改修・自由通路拡幅調査委託の検討状況を伺う。



J R金町駅北口

答南北通路の拡幅や新設、橋上化する場面の技術的な検討を行っている。
※他の質問項目 西地区再開発協議会 など

葛飾区北部地域の道路整備

問補助26号と国道6号との交差点はどのような協議がされているか。
答隣接する中川大橋東交差点の信号を廃止し左右折可能な計画を進める。
※他の質問項目 都市計画道路及び補助26号の整備と課題 など

学校給食費

問教員の負担軽減のために公会計化を検討すべきと思うがいかか。
答精査しつつ、研究していきたい。
※他の質問項目 未納者の負担 など
他の質問項目名 マイナス金利の本区の影響、空家対策

平成28年度予算の概要

各会計予算

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,801億2,000万円	2.7%
国民健康保険事業特別会計	608億8,800万円	△0.7%
後期高齢者医療事業特別会計	92億5,600万円	1.3%
介護保険事業特別会計	347億2,300万円	0.5%
駐車場事業特別会計	6億2,100万円	△14.0%
合計	2,856億800万円	1.6%

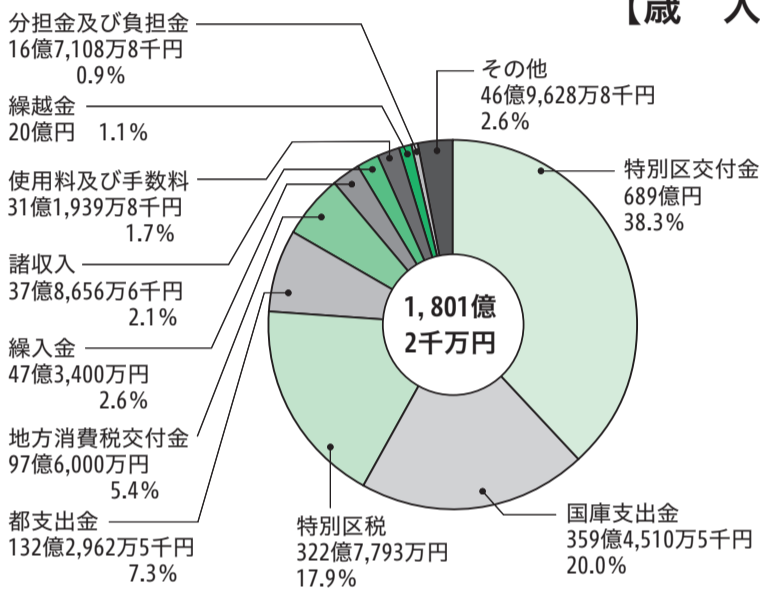
区民一人当たりの予算額（一般会計）

高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	170,572円
生涯学習の支援や小中学校の運営などに	32,456円
災害対策や地域活動、文化振興などに	37,967円
道路・公園整備やまちづくりに	29,532円
清掃事業や環境対策に	10,561円
中小企業に対する融資など産業経済に	8,724円
常勤職員の給料等に	58,842円
特別区債の償還などに	8,799円
国民健康保険・介護保険事業などの繰り出しに	38,366円
合計	395,819円

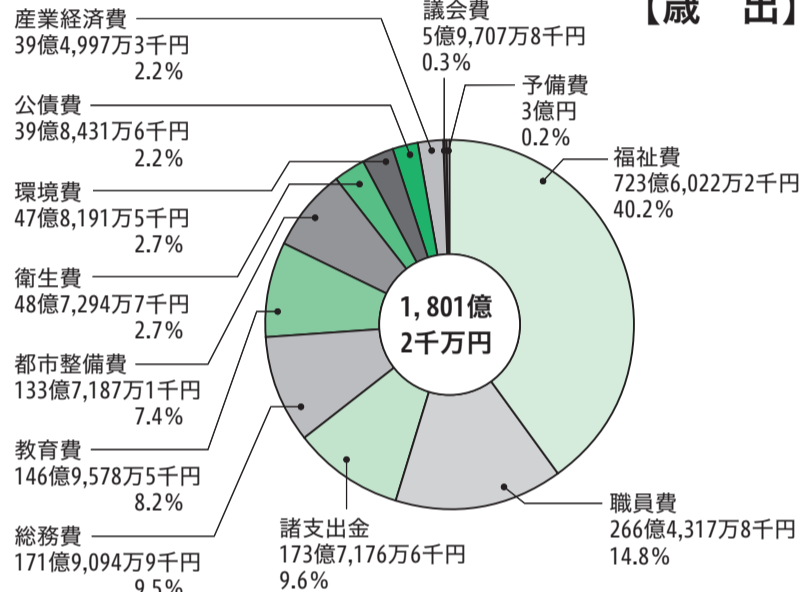
人口は452,789人（平成28年1月1日現在）から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

一般会計

【歳入】



【歳出】



※その他は特別区債など。

※四捨五入しているため、構成比の合計は100%になりません。

予算審査特別委員会

平成28年度予算を審査

2月17日の本会議において、平成28年度各会計予算案5件を審査するために、38名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

予算案は、3月2日の予算審査特別委員会においての総括質疑の後、4分科会で詳細に審査され、10日の予算審査特別委員会において、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定、3月28日の本会議において可決されました。

予算審査特別委員会委員長報告（要旨）

予算審査特別委員会は、平成28年度各会計予算について審査を行うために、2月17日の本会議において、38名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために、第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計予算のうち、議会費・総務費・産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費、公債費、諸支出金、予備費並びに各特別会計予算を所管しました。

3月2日の委員会では、総括質疑を実施し、10名の委員から区政運営全般について、多角的かつ大局的な観点に立って質疑が交わされました。

また、3月3日から8日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、3月10日に、当委員会は、各分科会長から審査経過及び各会派からの意見の報告を受けました。その上で、付託議案5件について順次採決を行い、「平成28年度葛飾区一般会計予算」、「平成28年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算」、「平成28年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算」、「平成28年度葛飾区介護保険事業特別会計予算」、「平成28年度葛飾区駐車場事業特別会計予算」は、いずれも賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

平成28年度予算に対する各会派の意見

この面から7面までに、平成28年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

自由民主党議員団

子育て・教育環境の充実と魅力と活力あるまちの実現を

平成28年度を初年度とする中期実施計画を着実に進めるため、重点的に予算を配分したことは高く評価する。過去最大の予算規模である平成28年度予算は、引き続き「子育て環境の充実」「教育環境の充実」を推し進め「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現を大いに期待して、以下意見を述べる。

職員費 適正に編成されている。
総務費 基金積立金は、目的や目標年度など明確にすることを要望する。

土地開発公社経費については、マイナズ金利など市場動向に合わせた適切な対応を求める。液化化対策経費は金額・対象ともにさらなる拡大を求める。（仮称）かつしか盆まつり事業経費については、3年がかりの計画になっているが早期の開催実現を求める。加えて、各種記念品の作成や、参加者のギネス記録に挑戦するなど話題づくりに積極的に取り組むことを要望する。

産業経済費 観光資源づくり事業経費については、葛飾区ゆかりのキャラクターを用いた銅像の建設や、イルミネーション事業を区内各所において、さらに展開されることを要望する。プレミアム付商品券発行事業費助成については、昨年の実績を踏まえつつ、購入希望者の利便性や使い勝手を重視するよう求める。

福祉費 路上生活者自立支援都区共同事業分担金については、区内の路上生活者の実態把握と、生活再建に向けたさらなる支援を求める。
放課後子ども総合プランについては、学童とわくわくチャレンジ広場の連携を深め子供の安心安全な環境づくりに努めることを要望する。保育所の待機児童問題は募集定員の拡大を堅持することを求める。児童館を子育て支援施設として更新する際、利用実態を正確に把握し、地元のニーズを考慮することを強く求める。

健康づくり支援事業については、事業に協力する人材やグループを広く募って拡大していくことを求める。また、ウォーキングマップ製作にあたっては、夜間における安全性を要望する。AEDの設置場所の周知の工夫及び保健所の夜間対応に改善を求める。

環境費・都市整備費 都市整備費において、文化的景観の取り組みについては、地域住民の意見を聞き、古き良きものを残す中で、街づくりでは過度な制限が掛からないよう検討することを目指す。

建築事務経費については、確認申請の状況を分析し、建築事務の改善を要望する。

公園管理運営経費については、フェンスやネットで公園を覆ったり、曜日や時間帯を決めてボールを利用できる期間を設定するなど工夫をすることで身近な公園で安全にボール遊びができることを要望する。

バス交通充実事業経費については、バス交通の充実に向けてしっかりと取り組むことを要望する。

教育費 ICTによるイノベーション創出事業は、実施計画の作成や教育委員会による支援体制の構築と学校図書館との連携を進めることで、教育環境の充実を図ることを求める。英語地域教材開発は、児童・生徒が興味・関心を持って取り組める教材開発を要望する。また、学力伸び伸びプランなど学力向上の取り組みは、事業の効果を科学的根拠として示した上で、充実させることを求める。不登校対策は、教員を不登校対応のコーディネーターとして任命し、スクールソーシャルワーカーと連携して家庭訪問等に取り組むことを要望する。

幼保小連携教育は、実践内容の共有などの取り組みをさらに充実させることを求める。

図書サービスカウンターは、地区センターなど利便性の高い場所への設置を要望する。

公債費・諸支出金・各特別会計については適正に編成されていると認める。

葛飾区議会公明党

積極的な予算編成

区民第一の区政運営を評価

中期実施計画の初年度の本年、区政の様々な問題に対し積極的な予算編成を行ったことを評価します。
総務費では、公共サイン再構築を進めると共にモデル整備の検証やユニバーサルデザインの視点からのチェックが...

日本共産党葛飾区議会議員団

国保料の値上げの住民負担の軽減は不要な基金の活用

働く人の実質賃金は下がり続け、年金、生活保護は切り下げで区民の暮らしは深刻です。
昨年度の国民健康保険料は、40代4人家族では都内最高の保険料で、高すぎる保険料を払えずにいる人が沢山お...

無所属(※1)

庁舎最優先候補地の疑問と学習環境・教員の意識改革

総務費 総合庁舎整備事業のチラシを昨年12月に区は作成し配布しているが、保留購入の総予算(推定30億円超)の記載は一切ない。
事業に反対する地権者が多数いるにも関わらず、平成35年度の新庁舎供用開始をめざすという...

無所属(※2)

10年で28億円の金利負担 土地開発公社の解散を！

土地開発公社は金利負担など様々な問題を抱える中で解散した自治体が増加している。
本区の公社はこの10年間で28億円もの金利の支払が発生している。また議会の議決を経て年間90億円で購入できる等問題点も多く、早急に解散すべきである。

無所属(※3)

仕事・生活の安定確保を図る 区政運営を

社会保障・番号制度は問題が多い制度であり、多額の財源投入に対し、区民が得るメリットは小さく、情報漏洩による不利益を被る危険性がある。
区の独自利用拡大は改めるべきである。指定管理者モナリクス委託費についても、モナリクス報告をまとめ公開できるようにすることを求める。

無所属(※4)

障害者差別法の施行に伴い 意識の向上を啓発を

青木区政になってから六年余りになるが、これまでにない飛躍的な区政運営を高く評価する。
区民と一体である区長の姿勢の表れである。きびかな区長のリーダーシップに期待する。

民主党 葛飾

地域課題への的確な区政対応と効果的な予算配分

総務費 夢と誇りあるまち葛飾基金は、寄付の受け皿として評価する。
一方で、ふるさと納税制度を活用して職人を補完する機能や寄付文化の醸成・協働に資する対応を求め、民間建築物整備助成は、金融機関と協力し、ローコスト制度を創設したことは評価する。
今後新しい計画を策定し、目標達成に向け助成制度の拡充を含め積極的な推進を求め、液状化対策は、従前の助成制度を改善及び拡充したことは評価する。

無所属(※1)

市営最優先候補地の疑問と学習環境・教員の意識改革

総務費 総合庁舎整備事業のチラシを昨年12月に区は作成し配布しているが、保留購入の総予算(推定30億円超)の記載は一切ない。
事業に反対する地権者が多数いるにも関わらず、平成35年度の新庁舎供用開始をめざすという...

無所属(※2)

10年で28億円の金利負担 土地開発公社の解散を！

土地開発公社は金利負担など様々な問題を抱える中で解散した自治体が増加している。
本区の公社はこの10年間で28億円もの金利の支払が発生している。また議会の議決を経て年間90億円で購入できる等問題点も多く、早急に解散すべきである。

無所属(※3)

仕事・生活の安定確保を図る 区政運営を

社会保障・番号制度は問題が多い制度であり、多額の財源投入に対し、区民が得るメリットは小さく、情報漏洩による不利益を被る危険性がある。
区の独自利用拡大は改めるべきである。指定管理者モナリクス委託費についても、モナリクス報告をまとめ公開できるようにすることを求める。

無所属(※4)

障害者差別法の施行に伴い 意識の向上を啓発を

青木区政になってから六年余りになるが、これまでにない飛躍的な区政運営を高く評価する。
区民と一体である区長の姿勢の表れである。きびかな区長のリーダーシップに期待する。

政策 葛飾

社会福祉の本質の見極めと公共施設更新の将来像を示す

4年連続過去最高の大型予算となる平成28年度予算は、地方消費税交付金の大幅な増と都区財政調整交付金による億円の増などの影響を大きく受けたいずれも削減された。
しかし、減速傾向を強める中国経済の影響や日経平均株価の下落、マイナスイ金利による金融市場の動揺、市町村民税収入の一部削減の拡大、法人実効税率の引き下げ、また景気回復が区民生活に十分に及んでいない状況を注視すると決して油断は許されない。
経営改革と徹底した事務事業の見直しを展開し、強固な柔軟性のある財政基盤を築く事を強く求める。

政策 葛飾

社会福祉の本質の見極めと公共施設更新の将来像を示す

4年連続過去最高の大型予算となる平成28年度予算は、地方消費税交付金の大幅な増と都区財政調整交付金による億円の増などの影響を大きく受けたいずれも削減された。
しかし、減速傾向を強める中国経済の影響や日経平均株価の下落、マイナスイ金利による金融市場の動揺、市町村民税収入の一部削減の拡大、法人実効税率の引き下げ、また景気回復が区民生活に十分に及んでいない状況を注視すると決して油断は許されない。
経営改革と徹底した事務事業の見直しを展開し、強固な柔軟性のある財政基盤を築く事を強く求める。

政策 葛飾

社会福祉の本質の見極めと公共施設更新の将来像を示す

4年連続過去最高の大型予算となる平成28年度予算は、地方消費税交付金の大幅な増と都区財政調整交付金による億円の増などの影響を大きく受けたいずれも削減された。
しかし、減速傾向を強める中国経済の影響や日経平均株価の下落、マイナスイ金利による金融市場の動揺、市町村民税収入の一部削減の拡大、法人実効税率の引き下げ、また景気回復が区民生活に十分に及んでいない状況を注視すると決して油断は許されない。
経営改革と徹底した事務事業の見直しを展開し、強固な柔軟性のある財政基盤を築く事を強く求める。

政策 葛飾

社会福祉の本質の見極めと公共施設更新の将来像を示す

4年連続過去最高の大型予算となる平成28年度予算は、地方消費税交付金の大幅な増と都区財政調整交付金による億円の増などの影響を大きく受けたいずれも削減された。
しかし、減速傾向を強める中国経済の影響や日経平均株価の下落、マイナスイ金利による金融市場の動揺、市町村民税収入の一部削減の拡大、法人実効税率の引き下げ、また景気回復が区民生活に十分に及んでいない状況を注視すると決して油断は許されない。
経営改革と徹底した事務事業の見直しを展開し、強固な柔軟性のある財政基盤を築く事を強く求める。

政策 葛飾

社会福祉の本質の見極めと公共施設更新の将来像を示す

4年連続過去最高の大型予算となる平成28年度予算は、地方消費税交付金の大幅な増と都区財政調整交付金による億円の増などの影響を大きく受けたいずれも削減された。
しかし、減速傾向を強める中国経済の影響や日経平均株価の下落、マイナスイ金利による金融市場の動揺、市町村民税収入の一部削減の拡大、法人実効税率の引き下げ、また景気回復が区民生活に十分に及んでいない状況を注視すると決して油断は許されない。
経営改革と徹底した事務事業の見直しを展開し、強固な柔軟性のある財政基盤を築く事を強く求める。

次の定例会は6月開催予定です

可決された議案

議案名下の☑は意見の分かれた議案
(各会派の賛否は下欄参照)

【区長提出議案等 47件】

予 算

- ▼平成28年度一般会計予算分 8件
- ▼平成28年度国民健康保険事業特別会計予算分
- ▼平成28年度後期高齢者医療事業特別会計予算分
- ▼平成28年度介護保険事業特別会計予算分
- ▼平成28年度駐車場事業特別会計予算分

- ▼平成27年度一般会計補正予算(第4号)☑
- ▼平成27年度一般会計補正予算(第5号)☑

歳入歳出にそれぞれ14億957万8千円を追加し、予算総額を1千930億4千734万3千円とする。

▼平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

▼平成27年度一般会計補正予算(第5号)☑

歳入歳出にそれぞれ6千万円を追加し、予算総額を1千931億734万3千円とする。

制定する条例

- ▼行政不服審査法施行条例 2件
- ▼行政不服審査法の改正に伴い、葛飾区行政不服審査会を設置するほか、必要な事項を定める。
- ▼いじめ調査委員会の設置に関する条例

▼葛飾区いじめ調査委員会を設置する。廃止する条例 1件

▼自動交付機カードの利用に関する条例

自動交付機カードを廃止する。

部を改正する条例

- ▼組織条例 30件
- ▼産業観光部を設置する。
- ▼個人情報保護に関する条例
- ▼行政不服審査法の改正を踏まえ、葛飾区個人情報保護審査会を廃止するほか、所要の改正をする。
- ▼人事行政の運営等の状況の公表に関する条例
- ▼地方公務員法の改正に伴い、人事行政の運営の状況に関する報告事項を改

める。

▼職員の仕事時間、休日、休暇等に関する条例

▼幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例

地方公務員法の改正に伴い、規定の整備をする。

▼職員の育児休業等に関する条例

地方公務員法の改正に伴い、規定の整備をする。

▼職員の分限に関する条例

職員の降給について定める。

▼行政委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例

疾病等によりその職務を遂行することができないと認められる場合等の行政委員会の委員の月額報酬について定める。

▼区議会等の求めにより出頭する者等の費用弁償に関する条例

農業委員会等に関する法律の改正等に伴い、規定の整備をする。

▼職員の給与に関する条例

▼幼稚園教育職員の給与に関する条例

地方公務員法の改正に伴い、所要の改正をする。

▼幼稚園教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例

▼職員の特殊勤務手当に関する条例

地方公務員法の改正に伴い、規定の整備をする。

▼職員の退職手当に関する条例

行政不服審査法の改正に伴い、規定の整備をする。

▼区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例

公務災害補償の補償基礎額を改める。

▼特別区税条例

地方税法の改正に伴い、徴収猶予に係る区の徴収金の分割納付又は分割納入の方法等について定める。

▼災害に際し応急措置の業務に従事した者等に係る損害補償に関する条例

行政不服審査法の改正に伴い、規定の整備をする。

▼消費生活センター条例

消費者安全法の改正に伴い、消費生活センターの職員等について定める。

▼地域コミュニティ施設条例等

西小菅集い交流館及び小菅東集い交流館を廃止する。

▼福祉サービス苦情調整委員条例

行政不服審査法の改正に伴い、規定の整備をする。

▼建築審査会条例

建築基準法の改正に伴い、葛飾区建築審査会の委員の任期を定める。

▼特別工業地区建築条例

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の改正に伴い、所要の改正をする。

▼「特別区道」道路占用料等徴収条例

道路占用料の額を改めるほか、所要の改正をする。

▼区立公園条例

飯塚平安第一公園及び西新小岩五丁目公園を新設するほか、所要の改正をする。

▼区立小菅東スポーツ公園、小菅西公園及び間栗公園条例

公園占用料の額を改める。

▼船着場条例

東立石緑地公園船着場及び北沼公園船着場を新設する。

▼自転車の安全利用及び駐車秩序に関する条例

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の改正に伴い、規定の整備をする。

▼国民健康保険条例

保険料率を改めるほか、所要の改正をする。

▼事務手数料条例

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の制定に伴い、建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請手数料等について定めるほか、所要の改正をする。

▼都市計画道路補助第276号線(大塚梓南)交差点改良(その1)工事請負

▼東金町運動場多目的広場人工芝生化その他工事請負

その他 4件

▼東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

東京都後期高齢者医療広域連合の経費の支弁の方法を変更する必要があるため、地方自治法第29条の11の規定により、議会の議決を経る。

▼教育委員会委員の任命同意

大里豊子氏を任命することに同意。

▼監査委員の選任同意

内山利之氏を選任することに同意。

▼人権擁護委員候補者の推薦に関する意見

人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を聞く。(区長の推薦に異議なし)

意見の分かれた案件

(○賛成、×反対)

件名	会派名()内は会派所属議員数								議決結果
	自民(13)	公明(11)	共産(5)	政葛(3)	民主(3)	無※1(1)	無※2(1)	無※3(1)	
予算	平成28年度葛飾区一般会計予算								可決
	平成28年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算								
	平成28年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	×	
	平成28年度葛飾区介護保険事業特別会計予算								
	平成28年度葛飾区駐車場事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	
	平成27年度葛飾区一般会計補正予算(第4号)	○	○	×	○	○	×	×	
	平成27年度葛飾区一般会計補正予算(第5号)	○	○	×	○	○	○	×	
条例	葛飾区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例								可決
	職員の分限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	
	葛飾区地域コミュニティ施設条例等の一部を改正する条例								
	葛飾区国民健康保険条例の一部を改正する条例								
	葛飾区特別区税条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	
契約	葛飾区東金町運動場多目的広場人工芝生化その他工事請負契約締結について	○	○	×	○	○	○	○	可決
その他	監査委員の選任同意方について	○	○	×	○	○	○	○	同意
請願	看護師等の大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書提出を求める請願書	×	×	○	×	×	×	×	不採択
	介護報酬の緊急再改定を求める請願書	×	×	○	×	×	×	×	
意見書	TPPの影響に関する国民の不安を払拭し、対策の確実な実行を求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	可決
	地方公会計の整備促進に係る意見書	○	○	×	○	○	○	○	

自民=自由民主党議員団、公明=葛飾区議会公明党、共産=日本共産党葛飾区議会議員団、政葛=政策葛飾、民主=民主党葛飾、無=無所属

区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします

会派名	構成議員名															
自由民主党議員団	秋本とよえ	梅沢五十六	平田みつよし	秋倉一	家沢岸	聡ようじ	明次至	安小米	西川大二郎	俊進	一進	池田筒井	ひさよし	よしかた	伊藤新	よしのり
葛飾区議会公明党	荒井彰	山本ひろみ	一子ひろみ	上原柳	ゆみえ	じょうじ	牛山	山小	山小	正たつや	江口	ひさみき	よしゆき	上村	村江	やすみえ
日本共産党葛飾区議会議員団	天野ゆうや	おりか	明実	中工	江藤	秀夫	中村	しんご	三小田	准						
政策葛飾	会田浩誠	大高	中村	けいこ	米山	真										
民主党葛飾	かわごえ	うめだ	信利													
無所属(※1)	小林ひとし															
無所属(※2)	水摩雪															
無所属(※3)	むらまつ															
無所属(※4)	勝康															

(注) 民主党葛飾は、4月1日付をもって葛飾区議会民進党議員団と名称を変更しました。

お知らせ

▼会派名の変更

4月1日付をもって、民主党葛飾は葛飾区議会民進党議員団と名称を変更しました。

結果の出た請願

請願名下の☑は意見の分かれた請願
(各会派の賛否は左欄参照)

▼看護師等の大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書提出を求める請願書

▼介護報酬の緊急再改定を求める請願書

▼TPPの影響に関する国民の不安を払拭し、対策の確実な実行を求める意見書を提出する意見書

▼意見書

▼地方公会計の整備促進に係る意見書

▼児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

▼(仮称)義務教育の段階における普通教育に相当する教育の確保等に関する法律案の早期成立を求める意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

▼意見書

会長	安西俊一
副会長	荒井彰一
委員長	秋本とよえ
委員	黒柳じょうじ
委員	おりか
委員	大高
委員	中村
委員	佐々木
区議会事務局長	隆

次の「かつしか区議会だより」は7月発行予定です